

電力の安定供給と当社の省エネの取り組みについて

2023年7月14日

東京電力ホールディングス株式会社

今夏の需給見通し

- 5月末時点で、東京エリア(厳気象H1) 7月予備率は3.1%と厳しい状況。
- その後、揚水発電機のトラブルがあったものの、磯子1号停止期間の短縮、長期計画停止電源（袖ヶ浦3号）の再稼働により、予備率は増加する見通し。

5月末時点の電力・ガス基本政策小委員会における需給状況

	<3月末時点>			厳気象H1需要に対する予備率	<5月末時点>		
	7月	8月	9月		7月	8月	9月
北海道	8.6%	10.9%	20.0%	3.1%	5.2%	7.6%	15.8%
東北			19.3%		15.8%		
東京	3.0%	3.9%	5.3%	3.1%	4.8%	5.3%	
中部	11.7%	13.6%	11.4%	9.8%	11.7%	7.8%	
北陸			12.9%			11.3%	
関西			12.9%			11.3%	
中国			12.9%			11.3%	
四国			12.9%			11.3%	
九州		14.4%	18.5%		14.4%	18.5%	
九州		13.6%	18.5%		11.9%	18.5%	
沖縄	22.3%	18.7%	21.6%	22.3%	18.7%	21.6%	

3月末から5月末にかけて、東京エリアの7月の予備率は、0.1%の微増に留まっている
 供給力：+1.2万kW
 = 広野2号(57.6万kW)
 - 磯子1号(56.4万kW)

出典：第62回電力・ガス基本政策小委員会（2023.5.30）

需給検証以降の供給力変化の状況

- kW公募で非落札となったDRの追加調達（0.5万kW）（予備率+0.01%）
- 揚水発電機2台（新高瀬川4号（32万kW）、葛野川2号(40万kW)）のトラブル発生（予備率▲1.2%）
- 他社火力電源（磯子1号（56.4万kW））の停止短縮が判明（8/2→7/15）（予備率+1.0%）
- ※供給力は増加したものの、7/14までは依然厳しい見通し
- J E R A火力電源（袖ヶ浦3号（95万kW））の再稼働（予備率+1.5%）

今夏の安定供給確保の取り組み

- 安定供給確保に向けて、お客さまのご協力をいただきながら、国・電力広域的運営推進機関と連携して供給・需要両面の対策に最大限取り組む。



東京電力パワーグリッド

- 毎週定例マスコミに向けて情報発信（経産省、電力広域的運営推進機関）
- 需給ひっ迫レベルの判断方法と迅速な情報公開
- 電力広域的運営推進機関・他電力と連携した広域的な需給運用の一層の推進（ひっ迫時のFC系統連系試験変更・相馬双葉幹線の運用容量拡大など）
- kW公募の対応、DR随意契約の対応
- 追加供給力対策の整備（自家発電リスト整備など）

TEPCO

東京電力リニューアブルパワー

- 揚水発電の的確な運用
- 需給ひっ迫時の水力増出力運転の対応

TEPCO

東京電力ホールディングス

TEPCO

東京電力エナジーパートナー

- 無理のない範囲での節電の協力の呼び掛け（東京エリア、7月・8月）
- 省エネ対策の実施（企業・家庭向け省エネプログラム）
- 対価支払型DRの更なる普及拡大

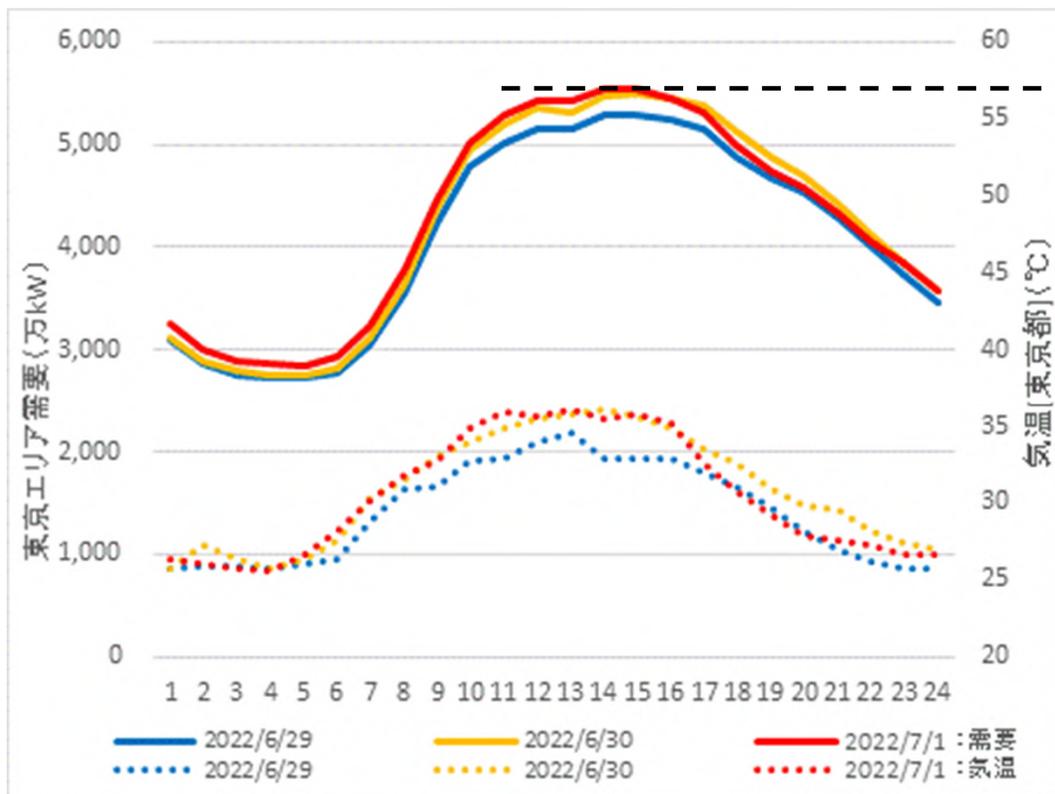
Jera

- kW公募の発電機（広野2号）の早期再稼働（6/19～）
- 休止火力電源（袖ヶ浦3号）の再稼働（6/26～）
- 新設火力電源の試運転スケジュール調整
- 電力需要想定に基づいた燃料調達（LNG追加調達含む）と在庫管理
- 需給ひっ迫時の火力増出力運転の対応

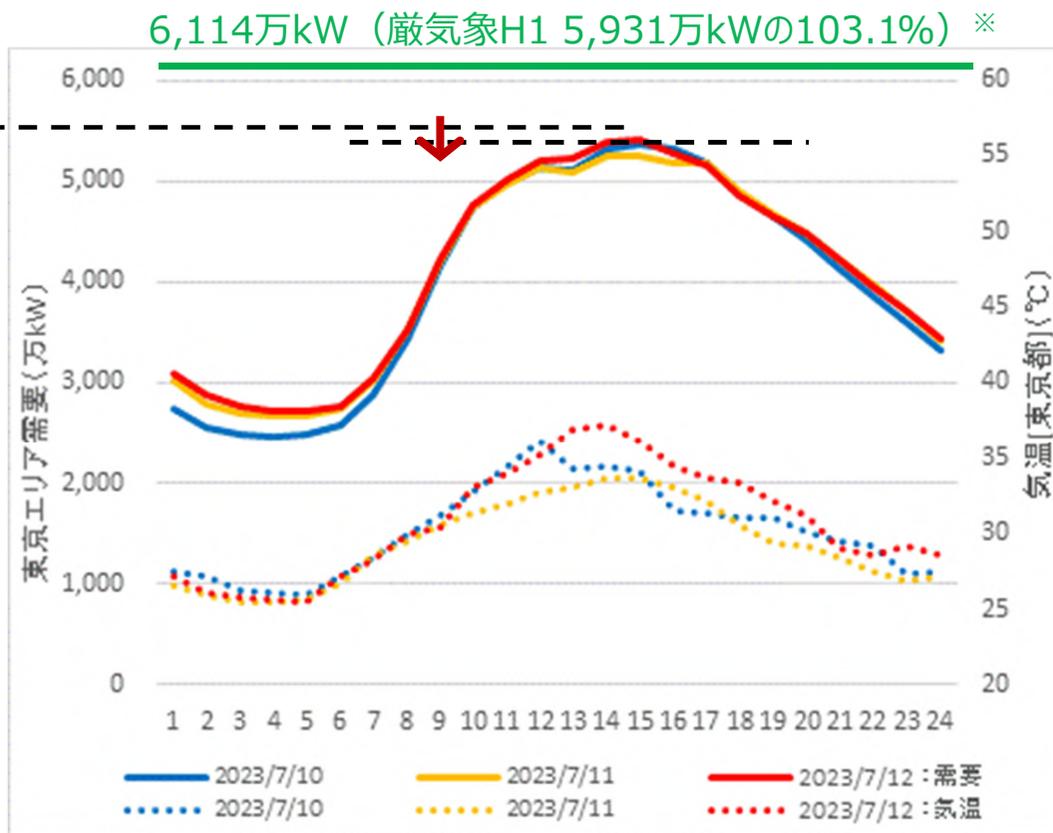
昨夏と今夏の需要比較

- 今夏の7/10の週と、昨年夏季の同程度の気温時における需要を比較すると、今夏の需要の方が低い傾向。
- 引き続き、供給力の変化や、気温上昇の累積効果による需要増加などを注視。

2022年度 (6/29,30,7/1)



2023年度 (7/10,11,12)



※2023.5.30 第62回電力・ガス基本政策小委員会（資料3）で示された東京エリア供給力

(万kW,°C)	6/29	6/30	7/1
最大需要	5,296	5,487	5,546
最高気温	35.4	36.4	37.0

(万kW,°C)	7/10	7/11	7/12
最大需要	5,358	5,248	5,406
最高気温	36.5	34.3	37.5

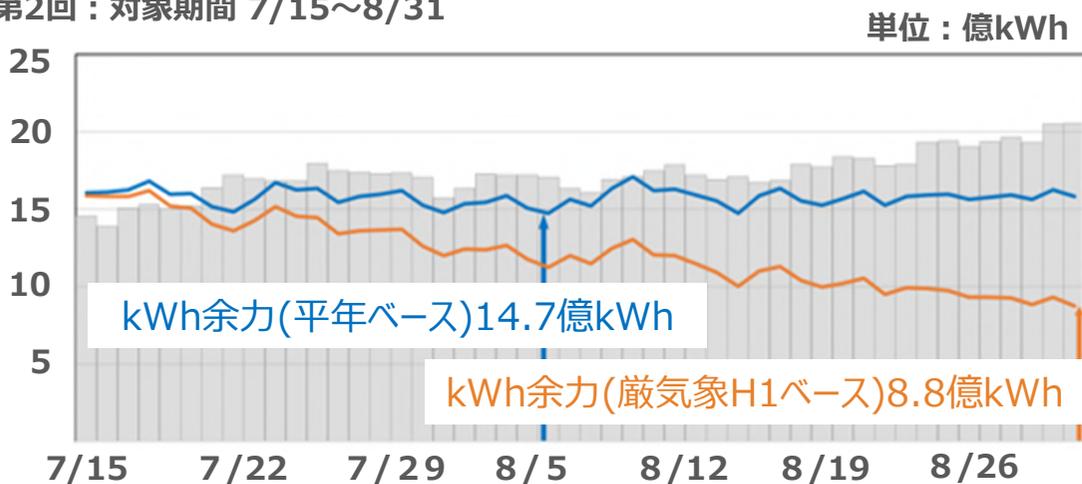
【参考】今夏のkWhモニタリング状況・LNGの在庫推移

■ 国・電力広域的運営推進機関にて、kWhモニタリング状況・LNGの在庫推移を確認。

kWh面からの電力確保状況（kWhモニタリング状況）

- ✓ 月平均気温が過去10年で最も高かった年度並（厳気象H1ベース）で需要が推移しても、8/31時点で8.8億kWhの余力がある見込み。
（対象期間の平均電力消費量の約3日分に相当）

第2回：対象期間 7/15～8/31



■：2022年度実績 ■：平年ベース(kWh余力) ■：厳気象ベース(kWh余力)

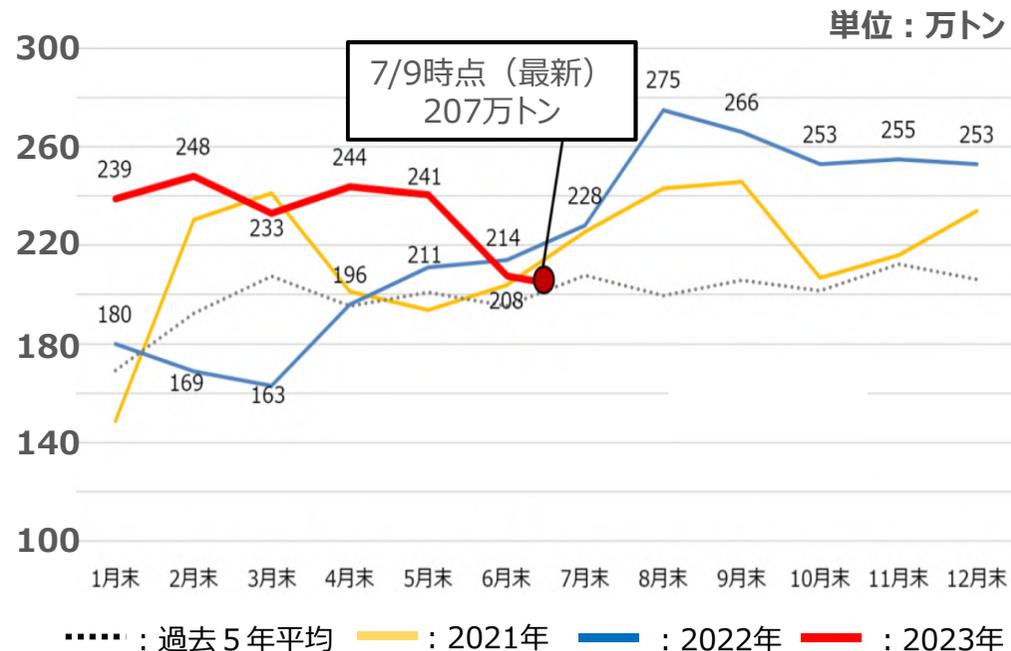
◆ 厳気象H1ベース

厳気象（エリアごとに過去10年間で月平均が最も高かった気温）の想定需要に基づくkWh余力の推移

（出所）「kWh視点の電力需給モニタリング」（電力広域的運営推進機関）6/30公表情報

発電用LNGの在庫推移（JERAを含む旧一般電気事業者）

- ✓ 7/9時点のLNG在庫実績は207万トンと、過去5年平均と同程度を推移



（出所）資源エネルギー庁 電力需給対策 7/12公表情報

今冬の需給見通し

- 3月末時点の今冬（2023年度冬期）の東京エリア（厳気象H1）の予備率は4.6%を確保できる見通し。
- 燃料価格は冬季に上昇する傾向にあること、ウクライナ情勢は未だ見通せず、欧州の天候、世界経済の動向もあり、世界的な燃料の調達リスクは継続していることから、kW対策だけでなくkWh対策として燃料調達・省エネ両面の対策を実施していく。

2023年度冬季の需給見通し（予備率）

<3/29時点の2023年度冬期の需給見通し>

	12月	1月	2月	3月
北海道	13.0%	4.6%	5.3%	14.2%
東北			4.9%	
東京	12.4%	9.4%	8.9%	
中部				
北陸				
関西				
中国				
四国				
九州	21.0%			
沖縄	14.2%			
	51.6%	42.8%	40.8%	59.3%

出典：第53回電力・ガス基本政策小委員会（2023.3.29）

燃料・電力市場価格の推移

(\$/MMBtu)

【LNGスポット価格の推移】

点線は7/7時点先物値



(円/kWh)

【卸電力取引所（JEPX）価格の推移】

点線は7/7時点先物値



需給の安定に向けた当社の省エネの取り組み

- 昨年度は、需給ひっ迫回避、お客さまの光熱費負担を軽減する取り組みとして、節電に関する施策を実施（約25億kWhの節電実績）。
- 今年度は、一層の省エネの定着、これによる安定供給確保に向けて、継続的な省エネ効果が期待でき、将来のカーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みとして、太陽光発電設備や電気式高効率空調設備などの設備導入サポートに注力（2023年度に32億kWh、2024年度に60億kWhの省エネを目指す）。

TEPCO省エネプログラム2023の概要

法人のお客さま	省エネ・創エネ設備の導入サポート	<ul style="list-style-type: none"> 電気式高効率空調機器やエアコンプレッサー、太陽光発電設備の導入費用の一部をサポート
	省エネサポート	<ul style="list-style-type: none"> お客さまの設備を診断して、さらなる省エネ化を提案 国の設備導入補助金への申請をサポート
ご家庭のお客さま	省エネ・創エネ設備の導入サポート	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電設備や蓄電池を導入いただいたお客さまに商品券を進呈 エコキュートを導入いただいたお客さまに商品券を進呈
	くらし省エネサポート	<ul style="list-style-type: none"> エアコンクリーニングを、通常価格の20%オフで提供 国の補助金を活用した窓断熱のリフォームを紹介 省エネに関するビンゴゲームで、くらしTEPCOポイント進呈
	行動変容型デマンドレスポンス（省エネチャレンジ）	<ul style="list-style-type: none"> 指定時間帯の節電量に応じて、くらしTEPCOポイント進呈

※「省エネチャレンジ」は昨年度125万件、今年度約77万件（7月9日現在）。

エアコン洗浄は、法人向けで昨年度約2万台。今年度は、一層の省エネの定着に向けて、電気式高効率空調機など導入費用サポートに衣替え。家庭向けは、昨年度7,000台。今年度もキャンペーンを継続中。

【参考】TEPCO省エネプログラム2023の概要①

- 「TEPCO省エネプログラム2023」では、省エネ・創エネ設備導入による快適で継続的な省エネの実現を支援
- 同時にデマンドレスポンスによる需給対策や、省エネ行動定着・光熱費削減をサポートするプログラム実施

<法人のお客さま>

設備導入サポート

- 省エネ・創エネ設備導入をサポートする「**TEPCOカーボンニュートラルサポート**」を導入。7/3より受付開始
- 機器に応じて、導入費用の一部をサポート
 - ・ 店舗用空調機；3,000円/kW
 - ・ ビル用空調機；6,000円/kW
 - ・ エアコンプレッサー；16,000円/kW
 - ・ 太陽光発電設備；11,300~26,500円/kW

ビジネス省エネサポート

- 東電EPの診断員が中小企業のお客さまの設備を診断
- 省エネ化のご提案や国の補助金の活用をサポート

デマンドレスポンス

- 需給逼迫時などのご協力をお願い
- 東電EPからの依頼に応じて需要抑制にご協力いただくメニューをご提案

TEPCOカーボンニュートラルサポート

対象設備

当社が定める基準を満たした以下3種類の設備の新規設置・更新・増設
電気式高効率空調・エアコンプレッサー・太陽光発電設備

こんなお客さまにおすすめ



商店や事務所等のお客さまで、店舗用パッケージエアコンの更新を検討中のお客さま



病院や事務所等のお客さまで、ビル用マルチエアコンの更新を検討中のお客さま



工場等のお客さまで、エアコンプレッサーの更新を検討中のお客さま



空地や遊休地、カーポートへ太陽光発電設備の設置を検討中のお客さま

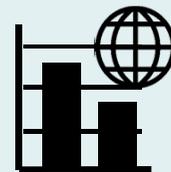
高効率機器のメリット

電気料金の節約

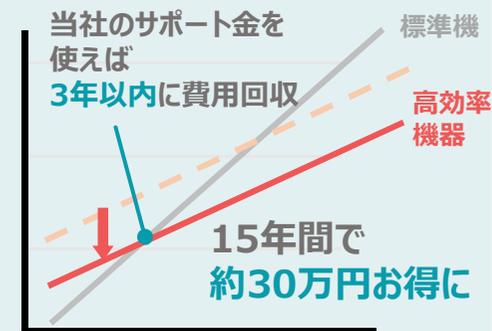


年間2万6千円お得

環境負荷低減



年間342kg-CO2削減



算定条件：標準機から高効率機へ変更した場合において以下の条件で試算した場合。

冷房能力12.5kWの店舗用パッケージエアコン（標準機APF(2015)：6.0、高効率機APF(2015)：7.1）

当社サポート金：37,500円、建物用途：宿泊施設、全負荷相当運転時間：2,200時間

電気従量料金単価（税込）：35.05円/kWh（スタンダードL、第二段階料金、2023/7/1適用料金単価、2023/7月分燃料調整費含む） 当社CO2排出係数（2021年度実績）：0.452kg-co2/kWh

【参考】TEPCO省エネプログラム2023の概要②

<ご家庭のお客さま>



省エネ特設サイト
キャンペーン・プログラムの詳細については、
当社ホームページなどをご確認ください

設備導入キャンペーン

太陽光発電で省エネ

太陽光発電システム・蓄電池の導入で自家消費を促進し
光熱費の削減につながります



広がる！わが家で太陽光キャンペーン！

最大**4万円分**JCBギフトカードもらえる

対象期間 2023年7月3日（月）～2023年9月29日（金）

エコ替えて省エネ

お使いの給湯器を最新のエコキュートへ買い替えると、
光熱費（給湯代）の節約につながります



広がる！みんなでエコ替えキャンペーン！

最大**2万円分**JCBギフトカードもらえる

設置期間 2023年6月1日（木）～2023年9月29日（金）

申込期間 2023年7月3日（月）～2023年9月29日（金）

デマンドレスポンス・省エネ行動定着

省エネチャレンジ

メールでお知らせした
時間帯で節電に成功すると、
ポイントがもらえます！



省エネBINGO

省エネ方法が書かれたオリジナルBINGOカードを
くらしTEPCO webの会員画面に表示します。
1日1回パネルをめくって省エネしましょう。
BINGOを揃えるとポイントゲット！



省エネにつながるメンテナンスやリフォームサポート

エアコンお掃除で省エネ



エアコンお掃除**20%オフ**キャンペーン実施中！

HITOWAライフパートナー（株）通常価格より20%割引

対象期間 2023年5月18日（木）～2023年8月17日（木）

※本サービスは当社が提携するHITOWAライフパートナー（株）が提供します

窓リフォームで省エネ

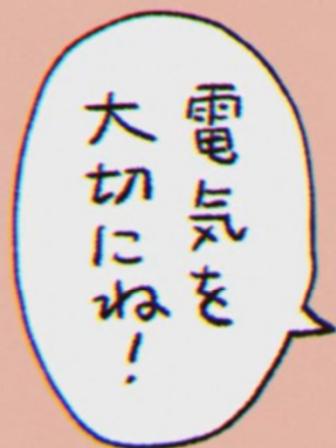


国の補助金制度の対象です

補助金は予算上限到達次第締め切りになります。制度の適用には条件があります。

※本サービスは（株）LIXILが提供いたします

TEPCO



お財布に優しい省エネ術、公開中！

東京電力 カンタン省エネ

